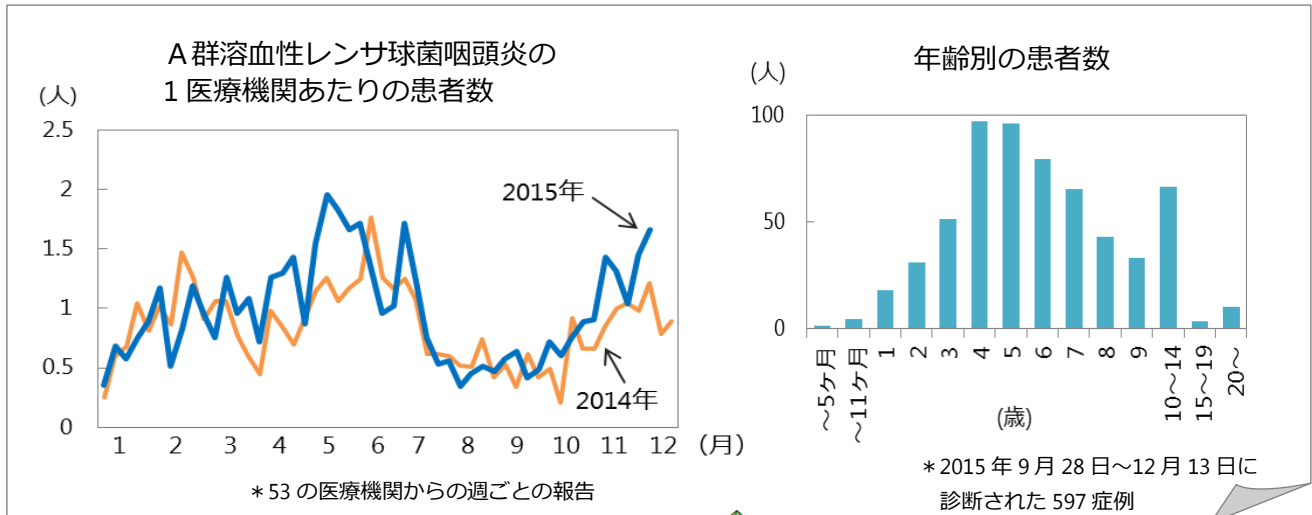


# ぎふ感染症かわら版



平成 27 年 12 月 18 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

## 冬はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の患者も増える季節です。



患者は年中みられますが、初夏と冬に多くなります



4～7歳で好発しています

### どんな病気？

A群レンサ球菌による上気道の感染症で、お子さんによくみられる病気です。

**発熱とのどの痛み**が特徴で、しばしばおう吐を伴います。

まれに腎炎などの合併症を起こすことがあります。

**抗菌剤**が有効なので、薬が処方された場合は、

合併症を予防するためにも、医師の指示どおりに**きちんと服薬**することが大切です。



### どうやってうつるの？ 予防方法は？

**飛沫感染**や**接触感染**で広がります。

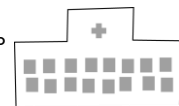
飛沫感染：感染した人の咳やくしゃみで飛び散った菌を吸い込む

接触感染：鼻水や唾液に含まれる菌が手などを介して口や鼻に入る

きょうだい間でうつることが多いので気をつけましょう

予防には、ふだんの**手洗い・うがい**が大切です。

また、熱やのどの痛みがある時は**早めに医療機関を受診**しましょう。



※ 保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

